

とて見入って、もう映画でした。

始め人に頼って自分の意志があまりなかった和也君が最後に自らビッチハイクで帰ろうとしていて、人として変われてよかったですと思いました。

色んな人に出会って、手伝いを進んでいたり、医師に向かっ、自分の意見を伝えたり、克平君にお母さんにあいさすするよう言ったりして、色んな経験をして、本当につらいことはわかりました。たと思えますが、よく乗り越えられたなあと思えました。

嘘つまた、たけれど、旅で変わることをたてたので、これからは周りの目を気にするのではなく自分の意志で生きていけると思いました。また、人と出会うことをただけた印が感じられることか、たので、将来会う人との出会いを大切に、また別れるときは、「また会おう」といえるくらいいいと思います。

映画を見ていて主人公の和世を助ける周りの人達を最初は
「はちめちゃんな人だ」と思ったけど、口虚をつき続けていた和世に
人として本当に大事なことを教える姿に感動しました。

この作品をきっかけに改めていろんな人に出会っていくことの
大切さ、自分自身や家族、友達と向き合うことの大切さを
感じました。

また、周りの人のさりげない優しさに気づきました。

もし自分の近くに困っている人がいたら、誰かではなくて
自分から手をさし出したいです。

轆に出してきたけい お金も金もなかった 主人公が いろいろお金の親戚で
たぶん場所に行き、たぶんの人(逢) ことわく下でいって 思いました。
最初は 嘘ばかりでいって 主人公も、一晩泊めてくれた 友いさも、髪を切ってあげて
自転車を買ってくれた あいさ、デコトラに乗せてくれた 柳下さんのお話をしてくれて
とくに 主人公の心 驚かすほど びっくりの 感じを 感じた こと ありました。

私も柳下さんのような人に 会いた と思 った。 一人 二人 三人 旅をした
と 思 いました。

この 映画、 見る だけ 良かった と思う。

私はこの映画を観て、自分は0点だなと思いました。

私も主人公のように見栄を張って嘘を吐いてしまうことがあります。でも自分の主人は自分だから、他人の目は「かり」気にして過ごすのではなく、自由に生きていきたいと思えます。

あと、この物語に出てきた人達はみんなあたたかくて、心が優しい人ばかりだなと思いました。

その中でも私は柳下さんのように、自分に自信を持てるようにしたいです。

本当にためになった映画でした。

高2の今この映画を観ることができてよかったです。こんなにいい映画を観る機会を与えてくださり、ありがとうございました。